

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称	〔7〕 東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31			
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2) 類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所					
(3) 経営状況	24年度決算 歳入 649,077,258円 歳出 572,606,613円 収支差額 76,470,645円 (区返納金56,470,645円次期繰越金20,000,000円) 監査の結果、事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった(内部監査報告書より)					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区上野公園 8-4-3					
(2) 設置目的	奏楽堂は、昭和58年に東京藝術大学より寄贈を受けた。日本最初の木造洋式音楽ホールである。国の重要文化財でもあるため、奏楽堂を保存し生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。					
(3) 利用者	区民ほか					
(4) 開館日・時間	開館日：日・火・木曜日(水・金・土曜日はホール等の使用がない場合) 休館日(月曜日/年末年始/特別整理期間等) 開館時間：午前9時30分～午後4時30分					
(5) 規模	延べ床面積 1,851.39㎡ 木造地上2階地下1階(一部RC) / 資料展示室、楽屋控え室、楽屋、練習室、倉庫、パイプオルガン機械室・倉庫、ステージ、ホール、ホワイエ、鑑賞室、応接室、資料整理室、資料保管室、事務室、発電機室等					
(6) 人員体制	7名 常勤固有職員(1) 派遣職員(1) 再任用(2) 専門スタッフ(1) 財団嘱託員(1) 特例嘱託員(1)					
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
(1) 委託事業	奏楽堂の施設の公開、ホール・練習室及びパイプオルガンの使用に関する事務。音楽に関する資料の収集、保管及び展示事務。施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2) 自主事業	特別事業「こどものうた～大正時代の童謡運動～」 「大正のうた～本居長世の童謡・歌曲を中心に～」 「ありがとう・また逢う日まで」、体験教室「旧奏楽堂のパイプオルガン、チェンバロを弾いてみよう！」 日本歌曲コンクール、入賞記念コンサート					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	16,649,000	15,557,000	16,258,000	15,160,000	15,076,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	16,649,000	15,557,000	16,258,000	15,160,000	15,076,000
決算	委託料	14,735,246	13,756,517	14,682,562	14,571,627	13,936,905
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	14,735,246	13,756,517	14,682,562	14,571,627	13,936,905
	収支	0	0	0	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等(活動指標)</b>						
指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
開館日数	日	234	226	244	243	
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称	単位	目標値(26年度)	22年度	23年度	24年度	
入館者数	人	休館中	20,105	17,807	25,352	
ホール使用率	%	休館中	98.0	94.7	96.5	

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>ニューイヤークンサートや特別コンサートをはじめ、貴重な所蔵資料を活かした特別展など、魅力ある事業を展開し、多くの人に休館前の奏楽堂をPRした。現在は休館中であるが定期的に職員が貴重な寄贈資料、パイプオルガン等の保守点検に努めている。</p>				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.3]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[3] [2] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[3] [3] [2] [2] [2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.4]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[3] [2] [3]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [2]
9. 評価				
<p>S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	S	2日間に渡るニューイヤークンサートや3月末の4日間連続の特別コンサートなど積極的な事業を展開し、休館前に奏楽堂の魅力を十分に楽しんでもらうことに成功した。		
(2) 施設の維持管理	A	国の重要文化財である建築物の修繕や補修については、区と連絡を取りながら適切に行い、施設の管理・保全に努めている。また、貴重な寄贈資料や楽器等の物品の管理・保守点検については常に気を配っており、適切に行われている。		
(3) 利用者の満足度	S	前年、アンケートで好評だった貴重な楽器を実際に演奏できる体験教室や特別コンサートの実施回数を増やすなど、利用者のニーズの高い事業の拡充を図ることで入館者数の増に繋がった。		
(4) 収入支出	A	予算の執行は適正に執行されている。		
10. 総合評価				
良好 妥当 要努力 要改善 不適				
良好		重要文化財である施設の適切な維持管理等に努めるとともに、利用者のニーズに沿った事業の拡充を図るなど、運営努力が入館者増に反映されている。		
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
<p>平成25年4月1日より休館中であるが、重要文化財である施設や貴重な寄贈資料・パイプオルガン等の保守に努めるとともに、日本歌曲コンクールや木曜コンサートなど会場を変えて継続している事業を今後もPRしていく必要がある。</p>				